



シリーズ タンチョウ

Vol. 328

鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ

原田 修
〒085-1205 鶴居村中雪裡南 ☎64-2620/FAX64-2239

鶴居 タンチョウ

検索



レンジャーが交代しました

この春、サンクチュアリのレンジャーが交代しました。この紙面上で2人のご挨拶を掲載させていただきます。新体制となったサンクチュアリの、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

<離任の挨拶 田島 奏一朗>

このたび、退職に伴い鶴居村を離れ、地元の鹿児島に戻ることになりました。村内で過ごした4年間はあっという間でした。村へ来た当初は、広大な土地をはじめ自然のスケールの違いに驚いたことが印象に残っています。大好きな野鳥たちとの素敵な出会いも、沢山ありました。このような素晴らしい自然が広がる中で、タンチョウの保護活動に携われたことを誇りに思います。温暖な地域で育った私にとって、初めて迎えた冬は試練でした。厳しい寒さになかなか慣れず、タンチョウと同じく越冬するのに必死だったことも、今となっては忘れられない体験です。振り返ると楽しい思い出ばかりなのは、豊かな自然環境だけでなく、なによりも温かい村民の皆さんに囲まれて過ごすことができたからだと思っています。

鶴居村は第2の故郷となりました。村を離れるのは少々寂しいですが、今後もタンチョウの魅力や自然の素晴らしさを情報発信し続けることが、自分の役目だと思っています。地元の多くの方に足を運んでもらえるよう、PRしていきます。また、私自身も沢山の仲間を連れて、遊びに来たいと思います。4年間、大変お世話になりました。本当にありがとうございました。



給餌場で解説をする田島レンジャー

<着任の挨拶 田中美晴>

4月に着任した田中美晴です。私は幼い頃から生き物が大好きで、将来の夢は動物の飼育員になることでした。このため、動物飼育の専門学校に入学し、卒業後に東京都にある多摩動物公園で主に外国産トキ類（ショウジョウトキやホオアカトキなど）の飼育担当をしていました。繁殖期には、トキやクロツラヘラサギなどの希少種の人工育雛にも携わっていました。動物園での希少種の保全活動を「域外保全」と呼びますが、対して生息地での保全活動である「域内保全」にも携わりたいと思い、日本野鳥の会に入局し、鶴居村へとやって来ました。

私の出身地は千葉県です。このため、千葉県の環境とは異なる北海道での生活は、不安もたくさんあります。ですが、初めて野生で観るタンチョウの美しさをはじめ、聴いたことのない鳥の声や、雄大な自然に囲まれる日々を過ごせることに、ドキドキワクワクでいっぱいです。何より、タンチョウの保護活動に携われることをとても嬉しく思っています。慣れない北海道生活の中、鶴居村の皆さまにはいろいろ学ばせて頂くことも多いと思いますが、一生懸命頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



はじめまして、私が田中美晴です